



ひぐち英明

日本共産党 京都市会議員

市議会報告
2014年
7月

URL <http://www.5f.biglobe.ne.jp/~higuchi/> E-mail h-hide@myad.jp

展望台建設ではなく ごみ袋代の値下げを

2月の予算議会において、水道料金など各種公共料金の27億円もの値上げを、共産党以外の、自民・民主・公明・京都党の賛成で可決してしまいました。これだけくらしが厳しいときに、消費税増税に加えて莫大な市民負担を押し付けることは絶対に許せません。

さらに許せないのが、ムダ遣いを改めない点です。例えば、南部クリーンセンター第2工場（ごみ処理場・伏見区）を建て替える際に、「学習施設」と称して80mの展望台をつくろうとしています。この展望台建



設になんと4億円。しかも、この4億円は、有料ごみ袋代の利益を使ってつくりようになっています。

くらしが厳しいのですから、展望台などつくり、ごみ袋代の値下げこそ必要です。

ムダ遣いを改め、くらしの応援を
4億円の
展望台計画は
撤回すべき



煙突展望台の先行例（埼玉県越谷市）

国民健康保険会計は 6年連続で累計約110億円の黒字

5月議会では、昨年度の国民健康保険会計の見通しが示されました。単年度で15億円の黒字。これで、6年連続、累計で約110億円の黒字が積み上げられたことになります。これだけの黒字会計でありながら、保険料の減額を行わないというのは納得できません。

保険料が高すぎるために、滞納世帯は5世帯に1世帯という大変高い割合になっています。保険料の減額は喫緊の課題です。

国民健康保険会計の単年度黒字

2008年度	約13億円
2009年度	約11億円
2010年度	約15億円
2011年度	約27億円
2012年度	約27億円
2013年度	約15億円
6年分の合計	約110億円

見込み

トピックス

身近な 公共事業予算の拡充を

この間、市内高速道路未着工三路線（総事業費一九〇億円）を断念させ、新たなごみ処理施設（焼却灰溶融施設・総事業費一七五億円、維持費二〇億円/年）を契約解除に追い込むなど、ムダ遣いを改めさせてきています。市民の運動と共産党の粘り強い議会論戦の成果です。

ムダ遣いを改めれば、身近な要求を実現するための予算の確保にもつながります。

私道に転落防止用の柵設置

修学院の馬場脇町の私道に転落防止用の柵が京都市によって設置されました。市道でないのになぜ市が対応したかという、市民要望を受けて議会で論戦する中で、今年度から私道でも柵やカーブミラーなどの設置を行うことになったためです。地域の後援会のみならず、皆さんの粘り強い働きかけが実ったものであり、私も本当にうれしく思っています。

高野川の護岸改修が始まる

昨年の台風18号の際に、高野川の護岸が崩れ、そのままになっていた場所の工事がやっと始まりました。場所は北山通り（松ヶ崎橋）のすぐ北の山端川端町。2月議会の際に補正予算がついていたものです。川端通りの下が崩れていたので、心配の声が地域の方からも寄せられていました。工事の完成が待たれます。



●崩れた川端通り下の護岸



●私道に設置された柵